

図書館だより



197

2015(平成27)年11月11日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fks.ed.jp/>



展示のお知らせ 展示コーナー

ふれあい歴史館
移動展

ひきふだ 「福島の引札」 11月6日(金)~12月2日(水)



引札とは、江戸時代から大正末期にかけて、商店が開店や売り出しのために顧客に配った印刷物で、現在のチラシやダイレクトメールに相当するものです。今回は、中村合名会社(現中合デパート)の引札など約40点を展示します。彩色豊かな引札をぜひご覧ください。

関連講座

「引札が語る 商業のまち福島の歴史」 (ふくしまを知る連続講座)

講師：柴田俊彰さん

(福島市史編纂室)

日時：11月15日(日)

14時~15時30分

場所：3階 第一研修室

*引札の魅力を通じて「商業のまち福島」の歴史を紹介します

入場無料・申込不要

福島県立博物館
移動展

「藤井康文 恐竜イラスト原画展」

12月4日(金)~1月6日(水)

長らく恐竜や古生物の復元図を手がけ、この分野における第一人者としてご活躍のイラストレーター・藤井康文さんによる恐竜イラストの原画11点を展示します。恐竜イラストの生の迫力をご鑑賞ください。

イベントのお知らせ

赤ちゃんと保護者のための「ちいさなおはなしかい」

11月12日(木) 12月10日(木)10時30分~11時

場所：こどものへや 入場無料・申込不要

秋の朗読会

出演：原國雄とその仲間たち

日時：11月22日(日)14時~15時30分

場所：図書館 講堂 入場無料・申込不要



講座「京都清水寺と大笹生斗蔵観音」

(ふくしまを知る連続講座)

講師：鈴木啓さん(福島県考古学会顧問)

日時：12月6日(日)14時~15時30分

場所：3階 第一研修室 入場無料・申込不要

*京都東山の清水寺式千手観音とされる、大笹

各種展示 11月6日(金)~12月2日(水)

【時事展示】

・福島県立図書館30年間のジャンル別・貸出ランキング

【ミニ展示】

・ノーベル文学賞

・実は奥深い!図録を読んでみませんか?

・~今が旬!~新そばを食べに行こう【地域】

・「食べ物」に関する絵本【こどものへや】

・あの映画をもういちど【雑誌】

・あったかい冬のごはん【雑誌・軽読書コーナー】

ロビー展示コーナー

・第7回網代澄亭と一門による刻字展 11月6日(金)~12月2日(水)

・まなべゆきお 油絵近作展 12月4日(金)~1月6日(水)



年末年始休館のお知らせ

平成27年12月28日(月)~平成28年1月4日(月) この間休館します



新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『アートは資本主義の行方を予言する 画商が語る戦後七〇年の美術潮流』 山本 豊津／著

PHP 研究所 2015. 10 706. 7/¥15X/

「アート」という言葉から何を思い浮かべるでしょう。「現代アート」「アジア」「商品」「資本主義」というキーワードは伝統的な芸術の発想からは縁遠く、連想するのが難しいのではないのでしょうか。数万円で売り買いされていたものが、時に百倍、千倍となるアート作品。こうした変動が起こること自体が、今生きる資本主義社会の仕組みであると著者は述べています。

この本を読むと、一見、現実社会から一線を引いているように思われるアートが、実は私たちの社会をとて忠実に映し出しているように感じられます。美術館に足を運んで作品に触れた時、もしかするとアートの見方が変わっているかもしれません。

『植物はすごい 七不思議篇』 田中 修／著

中央公論新社 2015. 7 471. 3/¥157/

よく知っている植物にも、よくよく考えてみるとどうしてなのかわからない、そんな“ふしぎ”がたくさんありませんか？本書では、私たちにとって身近なサクラ、トマト、チューリップなど七種類の植物たちの七つの不思議が取り上げられ、その疑問を解き明かしながら、植物たちが持つ生きるための巧みな工夫やしくみが紹介されています。何気ない日常の中で行われている植物たちの生命の営み、そこに秘められた「すごさ」を再発見できる一冊です。

『旗本・御家人の就職事情』 山本 英貴／著

吉川弘文館 2015. 10 210. 5/¥15X/

現在、就職難が問題になっていますが、それは今に限った話ではないようです。江戸時代、將軍の直属の家臣である旗本・御家人もその就職状況は厳しいものでした。一口に旗本・御家人といってもそのなかで就ける職が分かれており、就職口が少なかったため職のない者もいたそうです。本書では幕府の行った人事政策や出世を目指した武士の様子から当時の就職状況に迫ります。

児童・児童図書研究

「不思議の国のアリス」刊行から 150 年。世界中で愛されてきたその不思議な世界を、様々な視点から楽しめる本が続々と出版されています。

『不思議の国のアリス完全読本』 桑原茂夫／著

河出書房新社 2015. 8 J930. 26/¥

本書は、この物語がどのようにして生まれたのか、作者ルイス・キャロルがひとつひとつのシーンをどのような思いで書いたのか、などを丁寧に追っています。アリスの魅力を余すところなく味わえる一冊です。

『アリスの国の不思議なお料理』 ジョン・フィッシャー／著 河出書房新社 2015. 6 J596. 23/7

“三月兔のミルクつぼ煮”、“ハートの女王さまのジャムタルト”など、物語に登場する摩訶不思議で美味しそうな料理レシピを、ジョン・テニエルの美しいイラストと共に紹介しています。

雑誌・新聞

2015 年のノーベル賞各部門の受賞者が 10 月に発表されました。邦人の受賞者が期待されるなか、生理学・医学賞を北里大学の犬村智（おおむら・さとし）特別栄誉教授、物理学賞を東京大学宇宙線研究所所長の梶田隆章（かじた・たかあき）教授がそれぞれ受賞し、大きく報じられています。

今回は、ノーベル賞の関連記事をご紹介します。

* 犬村智さん生理学・医学賞を受賞

全国紙・民報・民友 2015 年 10 月 6 日各 1 面

* 梶田隆章さん物理学賞を受賞

全国紙・民報・民友 2015 年 10 月 7 日各 1 面

* DNA 修復の研究で化学賞に欧米 3 氏

全国紙・民報・民友 2015 年 10 月 8 日

* 文学賞にアレクシエービッチさん

村上春樹さん受賞ならず

全国紙 2015 年 10 月 9 日

* ノーベル賞の屠氏「中国医薬の栄誉」

朝日新聞 2015 年 10 月 7 日 13 面

* 今年のノーベル賞 その意義は

日本経済新聞 2015 年 10 月 11 日 23 面

* 特集 ノーベル賞 次のフロンティアは？

『日経サイエンス』2015 年 11 月号 Z/405/S3

* 特許収入で 250 億円！多彩で意外な「4 つの顔」

『週刊東洋経済』2015 年 10 月 24 日号 Z/330. 5/T4

地域

『失敗することは考えない』 鈴木尚広／著

実業之日本社 2015. 7 L783. 7/S12/1

日本野球の顔とも言えるプロ野球チーム「読売ジャイアンツ」の切り札的存在であり、今年オールスター初出場も果たした相馬市出身のアスリート、鈴木尚広選手。今や押しも押されもせぬ走塁のスペシャリストとなった彼が、生い立ちから現在までの歩みはもちろん、高い成功率を誇る盗塁のコツや日々の体調管理法、そして故郷・福島への思いについても熱く語ります。代走という限られた機会で最高の結果を出し続けることのできる、鈴木選手の凄さの源がよく分かる 1 冊です。

『熱なき光：昭和天皇への親書』 星野剛／著

幻冬舎メディアコンサルティング 2015. 8

L913. 6/H35/1

太平洋戦争を回避しようと、ルーズヴェルト大統領から昭和天皇への親書を草稿した朝河貫一の生涯をわかりやすく描いており、中高生にもおすすめです。朝河貫一は旧二本松藩士の子として生まれ、福島市立子山で育ちました。苦学し、アメリカに渡り、明治から昭和にかけて歴史学者として活躍し、日本人初のイェール大学教授となった人物です。

当館では、朝河貫一氏関連の書簡類を中心としたコレクションを所蔵しています。